

# 商売繁盛の守り本尊

200年に一度のご開帳、前は平成4年  
 今月21日は例大祭



## 酒買地蔵尊由来記

むかし、材木町のある酒屋さんに、毎晩お酒を買いにくる物言わぬ小僧がおりました。ある晩のこと、貸した小樽を返さぬことに腹を立てた番頭は客の小僧の頭を木槌でなぐってしまいました。けれども、よろよろ帰って行く小僧さんの身を案じた酒屋の主人は、そっとあとをつきました。

このお堂の前まで来ると不思議に姿が見あたりません。驚いてお堂の中をのぞいてみると、何と貸した小樽が山のようになっております。ふとお地藏さんを見上げると眉間に傷がついているではありませんか。「お客様には親切にしてお上げなさい。」と酒屋さんの耳に鈴のような声がきこえました。勿体ないことをした、毎晩このお地藏様が化身されてお酒を買いに来られたのだ、と心から悔みました。この後、親切第一に商売に励み縁日にはお酒を供えておまつりをしました。

お店は大繁盛、健康にも恵まれ、賢い子宝に恵まれました。代々栄えたこの酒屋の話は江戸時代享保の頃から今に語りつがれております。

平成元年七月二十三日 酒買地蔵尊奉賛会

